# インターナショナルアカデミー

## 自己評価報告書

法務省出入国管理局「日本語教育機関の告知基準」により、本校では自らの活動状況について以下の項目を設定し、毎年の点検と評価を行い、公表する事とします。

以下は、2021 年 4 月から 2022 年 3 月までの報告書です。

1. 教育理念、目標

多様化する国際化時代の中で「言葉」を通して、スムーズな共生社会の実現に努力する。確かな日本語力と日本文化を身につけ、母国と日本の架け橋となる人材を育成する。また、来日時の目標を忘れることなく学び続ける環境を提供し、夢の実現をお手伝いする。

⇒ 適切に取り組めた

2. 学校運営

（1）告示基準を満たしているか ⇒ 適切である

（2）人事・会計管理に規定が整備されているか ⇒ 適切である

（3）コンプライアンス体制が整備されているか ⇒ 適切である

3. 教育活動

（1）教育課程

入学直後や学期末毎にテストを実施し、適切なクラス分けをしている。クラス担任がレベルにあったカリキュラムを作成、確認しながら進めている。主任講師が適宜クラス見学をして教務内容の質の向上に努めている。クラス担当講師のミーティングを定期的に行い、指導に関する知識・学生情報を共有している。

⇒ コロナ禍の影響があったが、適切に取り組めた

（2）成績評価、修了の判定基準

成績評価は、A（100～80 点）、B（79～65 点）、C（64～50 点）、D（49～0 点）の4段階に分けており、D の場合は追試験を行っている。修了条件も学則の中に記載し、オリエンテーション時など折に触れ説明している。

⇒ 適切に取り組めた

4. 学習成果

学習到達度が適切に管理され、指導に反映されている。コース修了時の JLPT 試験の合格率到達目標はほぼ満たされている。また、学生の進路は適切に把握されている。

⇒ 適切に取り組めた

5. 学生支援

（1）健康管理

国民健康保険と留学生保険に加入し万が一のケガや病気に備えている。また、健康診断も毎年実施している。

⇒ 適切に取り組めた

（2）生活指導

入学直後に多言語による詳細なオリエンテーションを実施し、教職員が情報を共有し適切に指導している。

⇒ 適切に取り組めた

（3）進学指導

目標の進学先に進めるように、個別指導、支援体制が整っている。

⇒ 適切に取り組めた

6. 教育環境

（1）施設・設備は安全に整備されているか ⇒ 適切に整備されている

（2）教材・教具が適切に使用されているか ⇒ 適切に使用されている

（3）学習効率を図るための環境整備はなされているか ⇒ 適切に整備されている

7. 入学者の募集

信頼できる仲介を通し、留学目的、日本語能力、経費支弁能力を重視し選考している。また、学費は適正で募集要項に明示している。

⇒ 適切に運用されているが、募集はコロナ禍の影響を受けている

8. 財務

財務基盤は中長期的に安定しており、公認会計士の定期指導、監査を受けている。

⇒ 適切に運用されているが、コロナ禍での入国制限規制の影響を受け収入は前年度比減となっている

9. 法令順守

出入国管理及び各種関連法を順守し適切な運営を行っている。学生に対しては日本の法令を遵守するように指導している。また、個人情報保護の観点から適正な取扱いに努めている。

⇒ 適切に運用されている

10. 交流

併設の外国語学科、日本語教師養成講座学習者との交流がある。地域との交流は検討中。

⇒ ほぼ適切に運用されているが、 地域との交流はコロナ禍の影響を受けている